

添付書類 「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表」

修紅短期大学 幼児教育学科 専門科目（教養に関する教育科目・専門に関する教育科目）

科目名	単位数	教員名	実務経験及び講義概要
英語Ⅰ	2	伊藤 英輝	高等学校の英語教諭としての経験を活かし、英語を読む、聞く、話す、書くといった基本的な運用力を身に付けるとともに、国際的な視野を広げ日本語の理解力を深めることでコミュニケーション能力や幼児を対象に英語指導を身に付けるための演習を行う。
英語Ⅱ	1	伊藤 英輝	高等学校の英語教諭としての経験を活かし、外国語学習を通して豊かな教養を身に付けるとともに、社会の様々な場面や保育現場で必要とされるコミュニケーション能力を高めるための演習を行う。
幼児体育	1	富田 夕子	幼児体育の指導講師としての経験を活かし、幼児期の運動に必要な知識や技術、指導法を身に付け、幼児の発育発達の特長、運動遊びの重要性を理解と基礎技術習得のための演習を行う。
基礎音楽	2	鈴木 美樹子	音楽院の講師及び小学校の音楽講師としての経験を活かし、リズムの基本や楽譜の読み方、乳幼児の声域や音表現について理解するなど、音楽を通して子どもに対する基礎的な知識を身に付けるための演習を行う。
		清水 智子	音楽教室の音楽講師、高校の音楽講師としての経験を活かし、乳幼児の声域や音表現について理解するなど、音楽を通して子どもに対する基礎的な知識を身に付けるための演習を行う。
幼児音楽	1	鈴木 美樹子	音大付属音楽教室を兼ねた音楽院の講師及び小学校の音楽講師としての経験を活かし、正しい音程で歌い、正しいリズムを奏で、曲にコードネーム伴奏をつけ、弾き歌いのレパートリーを増やすなど、幼児の音楽に関する知識や技能を身に付けるための演習を行う。
身体表現	1	富田 夕子	幼児体育の指導講師としての経験を活かし、幼児の遊びや生活での身体的な表現を理解し、身体で表現する楽しさを生み出す要因について分析、共感するなど身体的な活動に結び付けて、表現できるようになるための演習を行う。
教職論と教育制度	2	吉瀬 献策	高等学校の校長職の経験を活かし、教員の存在意義、教育の目的と理念を理解するとともに、幼児期を中心とした子どもに関する専門的な知識を身に付けるための講義を行う。
特別支援教育（幼）	2	岩淵 典仁	運動療法士（厚生労働技官）、障害者スポーツ指導者としての経験を活かし、特別な支援を必要とする乳児や児童のおかれている状況・特性などについて理解を深める演習を行う。
		鈴木 佐保	心理士、カウンセラーとしての経験を活かし、特別な支援を必要とする乳児や児童のおかれている状況・特性などについて理解を深める演習を行う。
保育課程総論	2	岩本 智子	幼稚園教諭及び保育士としての経験を活かし、保育内容の充実と質の向上を図るための計画と評価について講義するとともに、教育課程・全体計画の編成と指導計画の作成に係る基礎的な知識を身に付けるための講義を行う。
幼児理解と教育方法	2	岩本 智子	幼稚園教諭及び保育士としての経験を活かし、幼稚園教育の方法、幼稚園教育の目的に適した指導技術、情報機器を活用し適切な教材の作成・活用に関する基礎的能力、幼児理解に係る基礎的態度、幼児理解の方法などについて講義する。
教育実習Ⅰ	2	【学外実習科目】	1週40時間の幼稚園教育実習と行事参加実習を通し、幼稚園教諭としての基礎的実践力の育成を図り、専門職としての資質の向上、専門的な知識・技術の一層の修得を目指すための学外実習を行う。
教育実習Ⅱ	4	【学外実習科目】	3週120時間にわたる幼稚園教育実習を通し、幼稚園教諭としての実践力の育成を図り、専門職としての資質の向上、専門的な知識・技術の一層の修得を目指すための学外実習を行う。
教職・保育実践演習	2	中尾 彩子	保育会社での勤務経験を活かし、教職として使命感・責任感、社会性や対応能力、現代的課題の分析、考察、検討、保育者としての資質・能力向上のための演習を行う。
社会福祉	2	館山 壮一	社会福祉士及び介護施設職員としての経験を活かし、現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷、社会福祉における子ども家庭支援の視点、社会福祉の制度と実施体系、社会福祉における相談援助、社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み、社会福祉の動向と課題などについて講義する。

科目名	単位数	教員名	実務経験及び講義概要
社会的養護Ⅰ	2	館山 壮一	社会福祉士及び介護施設職員としての経験を活かし、現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本的理解、社会的養護の制度と実施体系、社会的養護の対象と形態、関係する専門職及び社会的意義の現状と課題などについて専門的知識を修得するための講義を行う。
子どもの理解と援助	1	中尾 彩子	保育会社での勤務経験を活かし、子どもの心身の発達及び学び、子どもの経験や学習過程、子どもを理解するための具体的方法、保育士の援助や態度などの基本的な知識・技術を身に付けるための演習を行う。
子どもの保健	2	小岩 由香	保健師及び看護師としての経験を活かし、子どもの発育・発達、乳幼児がかかりやすい疾患、子どもの安全と保育環境などを身に付けるための講義を行う。
保育内容総論	1	千葉 満佐子	保育士及び幼稚園教諭としての経験を活かし、保育所保育指針（「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）と保育内容、保育の全体的な構造、保育の過程、保育の多様な展開について理解するなど、保育・福祉の専門的な知識や技術を身に付けるための演習を行う。
乳児保育Ⅰ	2	高橋 トモ子	保育所の保育士としての経験を活かし、乳児保育の意義・目的、歴史の変遷と役割、現状と課題を理解し、乳児を保育するための専門的知識や技術について講義を行う。
		宇津野 泉	保育所の保育士としての経験を活かし、発達過程の乳児の生活や遊びについて理解し、乳児保育における職員間や保護者や地域関係機関等との連携・協働など、乳児を保育するための専門的知識や技術について講義を行う。
乳児保育Ⅱ	1	高橋 トモ子	保育士及び幼稚園教諭としての経験を活かし、3歳未満児の心と体、それを取り巻く環境を知り、ともに成長するための様々な援助や環境の構成など、専門的知識や技術を身に付けるための演習を行う。
		宇津野 泉	保育所の保育士としての経験を活かし、発達過程の乳児の生活や遊びについて理解し、乳児保育における職員間や保護者や地域関係機関等との連携・協働など、乳児を保育するための専門的知識や技術について講義を行う。
子どもの健康と安全	1	小岩 由香	保健師及び看護師としての経験を活かし、子どもの健康・安全に係る保健活動計画の立案・評価方法、子どもの身体計測等の器具の取り扱いや日常の養育技術の修得、子どもの疾病と予防対策、早期発見のための知識の修得及び初期対応、救急時の対応や事故防止・安全な保育環境づくりに関する理解など、乳幼児を中心とした子どもに関する専門的知識を身に付けるための演習を行う。
社会的養護Ⅱ	1	館山 壮一	社会福祉士及び介護施設職員としての経験を活かし、子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的内容、施設養護及び家庭養護の実際、社会的養護における計画・記録・自己評価の実際、社会的養護に関わる相談援助の方法・技術、社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解するなど、専門的知識や技術を実際の場面に応用し実践するための演習を行う。
子育て支援	1	中尾 彩子	保育会社での勤務経験を活かし、子育て家庭に対し保育士が行う相談等の支援の展開や子育て支援における様々な場面や対象に即した支援の内容とその実際について演習を行う。
保育実習Ⅰ	4	【学外実習科目】	保育所および保育所以外の児童福祉施設での実習を通し、乳幼児及び入所者の行動や保育士の援助等の観察、保育活動への参加を通して児童福祉施設の機能と役割、保育士の職務と倫理、実習生としての心構えなど、保育士として活動するために必要な知識と技術を身に付けるための学外実習を行う。
保育実習Ⅱ	1	【学外実習科目】	保育実習Ⅰで学んだ点を踏まえ、保育所における活動の具体的な実践、保育の計画、観察・記録及び自己評価についての取り組み、保育士の業務内容及び保育士の職業倫理、保育士としての自己課題の明確化など、社会人としての豊かな教養と他者への共感力を身に付けるための学外実習を行う。
保育実習指導Ⅱ	1	中尾 彩子	保育会社での勤務経験を活かし、保育実習の意義と目的を理解し、保育士の専門性、職業倫理について理解、保育改善について実践や事例を学び、保育実践力を養うための演習を行う。

科目名	単位数	教員名	実務経験及び講義概要
保育実習Ⅲ	2	【学外実習科目】	施設において入所者や利用者の活動と保育士の援助等を観察し、当該活動に参加することで福祉施設の機能や保育士の職務及び倫理を学ぶとともに、保育士として活動するために必要な知識と技術を身に付けるための学外実習を行う。
総合表現	2	鈴木 美樹子	音楽院の講師及び小学校の音楽講師としての経験を活かし、リズムダンスを中心とした総合的表現の活動を舞台制作から発表会までをとおし経験、実践するための演習を行う。
経営とマーケティング	2	館山 壮一	一般企業での販売・経理業務等の経験を活かし、一般企業の仕組み、実務の流れを理解、経営学の基礎概念の理解。販売士資格を目指すなど、社会人としての教養と他者へ共感力を身につけるための講義を行う。
単位数計	50		

幼児教育学科 「実務経験のある教員等による授業科目」の合計単位数

全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計	省令で定める基準単位数
		50	50	7